

# 総務産業常任委員会会議録

- 1 日 時 令和7年12月11日(木)  
14時57分開会 15時27分閉会
- 2 会議場所 役場3階 第1委員会室
- 3 出席議員 川上 均、橋本晃明、山本奈央、桜井崇裕、佐藤幸一、西山輝和  
議 長：山下清美
- 4 説明員 なし
- 4 事務局 事務局長：大尾 智
- 5 議 件  
(1) 所管事務調査の申し出事項について  
(2) その他
- 6 会議録 別紙のとおり

【開会 14 : 57】

(1) 所管事務調査の申し出事項について

委員長（川上 均）：お疲れ様でした。只今より、総務産業常任委員会を開催する。議件の内容については、次回の所管事務調査の申し出についてである。3月定例会までの所管事務調査について、前回に引き続き、調査申出事項を協議したいと思う。その他突発的な事項に対応するため、「その他所管に関する事項について」の申し出も併せて行いたいと思う。只今、山本委員からもテーマの申し出事項あったので、説明をお願いしたいと思う。

山本委員：住民投票のあり方についてなのだが、前回お話ししたことと同じなのだが、私は言葉がとても下手なので、このように紙に記してきたので、読んでいただいたとおりにになるのだが、町名を変更するというのはとても大きいことであり、それに対して、住民投票というのはなかなかある機会ではないので、住民投票をするにあたって、どういったルールで今回は進めていくのかというのを、議会としてもきちんと勉強して挑んでいって、こういうふうに住民投票をしますよと町からの提案があったときにしっかり判断して、町民の方から問い合わせがあったときにはきちんと答えられるように、議会として、みんなで勉強して、委員会としてもお話ができるように取り組んでいったらどうかと思う、こちらを提案している。以上である。

委員長：ということであるが、皆さんのほうから何かご質問等があれば出していただきたいと思う。今ちょっと読んでいるところなので、ちょっと休憩する。休憩する。

【休憩 14 : 59】

【再開 15 : 08】

委員長：再開する。只今、山本委員のほうから住民投票のあり方について、所管事務調査をしたらどうかということでお話があった。私のほうから今回1点、申し出事項の調査項目について提案をさせていただきたいと思う。1つは、清水町の防災についての現状と課題である。というのは、ここ近日中に地震があり、やはり忘れた頃にやってくるというのが災害だとは思う。清水町の場合は皆さんご承知のように、平成28年の台風よった河川氾濫による様々な土砂災害に見舞われた経験を持っているが、それから約9年、もうちょっとで10年である。そういった中で、役場職員も人が変わって、私たちも経験者が退職して、あと若い人たちはもうすでに経験してないという方も結構いらっしゃると思う。そういった部分で、やはり風化しているというのが現実だと思う。この間、私も何回か一般質問させてもらった中では、まだ具体的な訓練までいってない。こういうときに実際に災害、先ほどもいろいろ話があったが、冬のこの厳寒時期に、夜、それも大地震が起きて、倒壊家屋が出たというときに、ではどうするのだという現実的な話になってくると思う。それらも含めて、今後どうしていくかということを含めて、防災について、これについては特に先進的に進んでいる、私も調べたら、近隣でいえば、例えば帯広市はもちろんであるが、音更町もかなり先進的な取り組みをされていると。そういった部分の視察調査もしながら、清水町に今後見合った防災体制を提言していくというのは非常に大事なかなと思って、今回、私のほうで提案をさせていただいた。皆さんのほうで、その他、もしあれば出していただいて、その中から皆さんの意見を聞きながら、決定をしていきたいと思う。特に皆さんのほうから、何かその他、申し出のテーマとしてあれば出していただきたいと思うが、

いかがか。西山委員はいかがか。

西山委員：私は、清水公園のお店がなくなってしまったので、これから清水公園自体をどうやっていくのかということちょっと考えてみたらいいかなと思った。

委員長：清水公園の今後のあり方について意見があった。佐藤委員、何かあるか。

佐藤委員：防災に関わる件であるが、過去に公共施設が多く建設されて、今現在、老朽化されて建築期を迎えている。支払いに大変なときであり、高薄町長時代に大変苦勞して何とか乗り切った経緯があったが。農業研修会館、体育館、世代間交流センター、給食センター、御影公民館等々、ほかの福祉館があるが、建て直しが必要と考えているが。この点の財政状況などを調査したいと思うが、いかがか。

委員長：それらも含めたということか。要するに財政状況か。

佐藤委員：そう。

委員長：橋本委員はいかがか。

橋本委員：前回、何かという問いがあったが、ここのところ、外国人の住民というか、それに対して、清水町ではそんなに問題化していないが、やはり排他的なものが、行動が出て来ているというようなところで、清水町もそういう面では、外国人の人が300人以上いるというので、現実として、それはよその町の話ではないので、それらの方が今どんな問題を抱えているのか、町として、その人たちを清水町の発展のために協力してもらおうような、何かできないかという、その辺ちょっと調査してみたらどうかというふうに思う。

委員長：いわゆる外国人との共生の問題ということでもいいのか。外国人とのまちづくりということか。

橋本：まちづくりへの参加。

委員長：桜井委員、何かあるか。

桜井委員：それぞれバラバラのテーマになってしまうけど、私、先月11月10日から深谷市の方に行ってきた。そして、その間、観光協会会長とも、町長とも交流して、観光協会会長は静岡のほうに前に行って途中で合流したのだが、そのあと、東京都北区に訪問した。東京都北区では、皆さんご存じのようにJ-クレジットも提携させてもらって、その時も北区の商工会会長と話したときにクレジットというか、環境譲与税の話で、そういう話になった経緯もあるので、いろいろお話させていただいて、そして、物産展をやっているということで、いろいろお話しをしてきた。また、東京商工会議所においても、物産展を開いていただけということで、商工会議所の常務以下各担当者にもいろいろお会いして、いろいろお話を聞いてきた。また、今日の町長の答弁の中に、首都圏だけではなくて、関西圏にも手を広げたいというような考え方を持っているようであるし、農協組合長においても最近いろいろな形の中で、町長とともに、いろいろ大使館等を訪れて、いろいろ販路を拡大しているということであるが、農協自体も東南アジアを含めて海外に展開したいという考え方を持っているというふうな話を聞いたので、個々にもやったことあるが、町の観光情報発信の今後の状況というか、そういったものをある程度。前にも、山本委員も言っていたが、そういったことも、ある程度調べてもいいのではないかなという思いである。町の観光情報発信業務である。前にも所管事務調査で調べたことがあるが。

委員長：観光の情報発信ということか。情報発信について、どういうことを。

桜井委員：今後の取り組み。これはすべてでないけど、私の考えたことである。

委員長：只今、それぞれの委員から、西山委員からは清水公園のあり方、佐藤委員からは財政状況、橋本委員からは外国人等のまちづくり、桜井委員からは観光情報発信の今後の方向性、川上委員からは防災について、それぞれ出された。1点に絞っていかないとならないのであるが、どうでしょうか。皆さんのほうから、聞いた中でこれに絞ったらどうかということでご意見をいただきたいと思う。

西山委員：今、地震が起きているので、防災も大事だと思う。

橋本委員：防災、災害は忘れた頃にやってくるということなので、何年かに一度はきちんとしているかどうかチェックするというのは大事なかなというふうに思う。特に、外国人の人が防災の中でどういうふうに位置付けられるかということも入れてもらえれば、防災でいいかなというふうに思う。

桜井委員：今、橋本委員の言われたとおりだと思う。それで、山本委員の考え方については、勉強会をするならある程度、準備を含めて、議員の希望者を募って、いろいろなところに要請してでも、勉強会はできると思うので。議運になるのか、議長のほうになるのかわからないけども、そういう要請をしたほうがいいのではないかなというふうに思う。

委員長：では、桜井委員は、今回、どれについて取り上げたほうがいいのかということか。

桜井委員：橋本委員が言ったように、防災、地震があったからというあれもあるが、やはり、対岸の火事ではないし、頻発しているでしょう。去年あたりから、火事もそうであるし。そういったことも含めて、清水町の経験した町としてそういう体制がきちんとできているのかと。

委員長：検証しながら、今後のあり方についてということ。今、そういう意見が出たが、皆さんのほうから、どうでしょうか。いかがでしょうか。今回は、防災ということで取り上げて…。桜井委員からあったように、住民投票のあり方については、また違った形でちょっと取り上げてもらって勉強会を開くなりするというところでということ。

桜井委員：今日、全員協議会が開かれるので、最後でもいいし、ちょっと提案してもらって、その勉強会がどういう形でできるのかはわからないけど、全員協議会の中で諮ってもいいと思う。それやりますということになれば。

委員長：ということでよろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

委員長：今回のテーマとして、防災についてちょっと取り上げてみたいと思う。内容については、いろいろ非常に、分野的には広いものがあるので、現状のまず確認と、それから、できれば、私は、やはり今の時期は遠くまで行けないので、音更町の防災担当は別に担当者があるので、やはりそちらのほうに。現状、先進的に進んでいる音更町、または、ちょっと大きくなるけど帯広市などの考え方も見ながら、清水町として今後どうあったほうがいいのかということを実際に調査しながら課題を探っていくということで進めていきたいと思うが、よろしいか。

(「よろしい」との声あり)

委員長：あわせて、調査期日は1月後半から2月ぐらいしかない。とても時間的にはちょっと厳しいなという部分もあるので、できれば、1月から5月までの調査期日を広く持つてもらって、6月定例会に報告するという形のもので。

事務局長(大尾 智)：今、委員長のおっしゃったことは、音更町などに防災を見に行くときに、例えば、防災施設とかそういうところも含めて見せてもらうときに、やはり冬季間というよりも、雪がとけてからという意味でしょうか。

委員長：時期的に、2月、例えば1か月の中でこれを全部見て調査するというのは期間的にはちょっと厳しいかなということで、やはりやるのであれば、きちんとして調査して、いい提案もしていきたいなということで、ちょっと幅を、期間を持ってやりたいなということである。

桜井委員：調査して、その後は継続してということか。

委員長：当然、継続にはなってくると思う。1回やって終わりというものではない。

事務局長：音更町などに打診して、うちの町もってということで、委員長と副委員長と相談をしてスケジュールを立てて、窮屈なスケジュールで動けないということであれば、継続してやるという、そういう形でこれはちょっと相談しながらですね、進めさせていただきたいと思う。もう1点、タイトルとしては、この委員長がお配りになった「清水町の防災についての現状と課題」でよろしいか。

委員長：「清水町の防災対策について」のほうがいいかなと。

橋本委員：防災の対策というのは変ではないか。災害の対策というのはある。

委員長：休憩する。

【休憩 15：26】

【再開 15：26】

委員長：再開する。テーマ、調査事項については、「清水町の防災体制について」という調査事項にしたいと思う。よろしいか。

(「はい」との声あり)

委員長：期間については、相手方もいるので、事務局と相談しながら決めていきたいと思う。そのような方向で進めてよろしいか。

(「はい」との声あり)

委員長：そのような形で進めていきたいと思う。

(2) その他

委員長：その他であるが、皆さんのほうから何かあるか。

(「ありません」との声あり)

委員長：特になければ、総務産業常任委員会を閉会する。ありがとうございました。

【閉会 15：27】